

たまりば

2018年度 夏号

Communication
通信 

◆ 発行日 **2018年7月** ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

野染め～つながるおもい～

「染めのおっちゃん」こと京都の染色家・斎藤洋さんと一緒に、野染めをしました。斎藤さんとは20年来のお付き合い。夢パークができる前は多摩川で野染めをしたこともあります。紅葉の季節にすることが多かったのですが、今回は若葉が美しい新緑の季節、巾1.2m長さ18mの布をみんなで染めました。染料は草や木などを煮出して作りました。びわの葉、ラベンダー、ローズマリー、ミント、あかね、荊安、よもぎ、玉ねぎの皮、紅茶、藍など、色も香りにもぎやかです。

木綿と麻で織ってある長い布をみんなで手に持って全天候広場に広げ、ユラユラゆらすとまるで波のよう。揺れる布の下を大喜びでくぐりぬける子どもたち。今年は夢パークに生えている草を束ねて草刷毛を手作りしました。染料に浸して布に触れると、刷毛になった草の先が繊細な模様を描きます。ぽたぽた染料をこぼして水玉模様を作ったり、大胆に刷毛を走らせたり、思い思いに色を重ねていきました。布の上には染料と一緒にたくさんの笑顔がこぼれます。2本の長い布を染め上げて布全体を眺めると、布が透けて見えて、全天候広場に虹がかかっているような、花が咲き乱れているような、なんとも美しい景色でした。

お昼は場所を移してえんの部屋へ。

座布団カバヤのれん、テーブルクロスなど、部屋の中も



野染めの色があふれています。えんめし(昼ごはん)にはえん味噌(えんで作った手前味噌)を使った豚汁をいただき、午後からは斎藤さんのお話を聞きました。陸前高田の浅沼ミキ子さんの「ハナミズキのみち」という絵本、癌宣告後に世界を旅した永田純子さんの「がんと旅する飛び出し坊や」の本、クメール伝統織物研究所の森本喜久雄さんの本を見せてもらい、お話を聞きました。

エイズメモリアルキルトに長く関わってこられた斎藤さん、野染めの道具と一緒にメモリアルキルトを持ってきてくれます。キルトを囲みながら聞くお話は、HIV感染症 AIDS という病と共に生き亡くなった方たちのこと、家族や友人が一枚のキルトに込めた思い、そして、みんなでキルトを縫うことで、かけがえのない人を失った悲しみを分かち合い乗り越えていくということ…斎藤さんのお話は、いのちのことを深く考える大事な時間。2011年の震災後、「風の布・パピヨン」の仲間たちと東北への野染めの旅を続ける中で出会ったたくさんの人たちのこと、変わっていく三陸の状況も毎年聞かせてもらいます。えんでは毎月11日は「震災のことを考える日」にしようと、2時46分にふるさとの歌を歌っています。この日は斎藤さんと一緒に「ふるさと」を歌い、野染めの布につながるたくさんの人たちを思いました。(たかこ)



NPO法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ



やっぱりBBQ!

4月28日は年に一度の楽しい会、多摩川でのBBQ(保護者有志の会主催)!今年なんと110人も参加しました。たまりばのBBQはみんなで準備してみんなで楽しむ会。早朝から場所取りをするためにBBQ場で並ぶ人、お家やえんでおいしい食べ物を

用意してくれる人、BBQに欠かせない鉄板や薪を運んでくれる人、買い出しをしてくれる人などなど、みんなそれぞれが自分のできる用意をして、多摩川の河原に集合です。

ふだんなかなか会えないたまりばの仲間たちやOB・OGもたくさん集まり、なつかしい話もいっぱいしました。

机の上にはよだれが出てきそうなおいしそうな料理や飲み物がズラリ。差し入れもたっぷり!おいしいおいしいお肉とともに「いただきます!!」。おいしい!うれしいたのしい!最高の一日になりました。(しもん)

5・16♪えん流、おいしいおもてなし

今年もドイツからの視察団を迎えるにあたり、おもてなし計画を開始。お昼のメニューは自慢の“焼きそば”と三好さんレシピ



の“ちらし寿司”。当日は若者たちを中心に、会場づくりや焼きそば担当などに分かれてみんな大活躍でした。手作りのステージでのフォルクローレ演奏も大好評!サンポーニャを演奏後に「Highest(最高)!」と声をかけられたナーちゃんが、そのまま会話を楽しんでた姿がとっても印象的でした。えんの中でも一人一人にお茶をたててふるまう子やドイツ語のメッセージ入りの折り紙をプレゼントする子など、それぞれがドイツの人たちとの交流を楽しんでいました。年を重ねるごとに、みんなの中で段々と身近になってきたドイツ。いつものえんの雰囲気そのままに、ドイツの人たちと楽しい時間を過ごしました。また、訪問に先がけてドイツ公共ラジオ放送の取材もあり、えんの子どものたちのインタビューなどがドイツのラジオで流れたそうです。(あかり)

一年を振り返る

6月23日(土)、2017年度活動報告会がフリースペースえんで行なわれました。報告会では、主にえんと夢パークで去年1年間どんなことをして過ごしていたのかを、たく



さんの写真を見ながらみんなで振り返ったり、お金がどう使われたのか等について話し合いました。また、夢パークとえんが今年で15周年ということもあり、何かお祝いできないかなどの意見交換も行われました。今年度も、ここを大切に思う人たちで知恵と力をもちより、やりたいことを実現していけたらと思います。報告会後の交流会では、久しぶりの顔や懐かしい人たちと、前日から仕込んでいたクッキーや沢山の差し入れのお菓子などをつまみながら楽しい時間を過ごしました。夜に行なわれた20歳以上の人向けの懇親会では、若者たちがたまりば・えんとの出会いや思いを語ってくれる場面もあり、保護者もスタッフもごちやませになりながら、アツク語り合う貴重な時間となりました。(マサ)

かながわ生活応援サイトが開設

たまりばでは、昨年度から「生活困窮者自立支援ネットワーク(かなこんネット)」に幹事団体として参画し、県との協働事業を行なっています。生活困窮者自立支援法の制定により、各自治体に自立相談窓口が設置され、行政と民間団体が連携した支援ができるよう仕組みづくりが行なわれています。かなこんネットでは、それぞれの活動をまとめた「かながわ生活応援サイト」を作成しました。このサイトは、どこに相談できるか、どんな支援が受けられるかなどを、地域や内容により検索できます。経済的な支援のみならず、子どもの居場所や障がいのことなど、暮らしや生活の中で必要となる様々な活動が掲載されます。働けない、家賃が払えない、住む家がない、暴力や虐待を受けているなど、様々な悩みを相談することで前にすすむこともあります。ぜひサイトを閲覧して様々な活動を知り、つながりを増やしていただければと思います。



(もとお) ☆かながわ生活応援サイト☆

URL: kana-con.net/

指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所で
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケ だより



～新年度、パソコン講座の開催～

ブリュッケでは、今年度も引き続き東京都大田区にある就労移行支援事業所「でらいとわーく（運営：一般社団法人障がい者・高齢者じりつ支援機構）」の職員を講師に、年間を通じてパソコン講座を開催することとなりました。第1回は、「パワーポイントで自己紹介!」ということで、講師のやっている作業を一つ一つスクリーンに映してもらい、その作業に習いながら自分なりの「プレゼン資料」を作成しました。「最近ハマっているもの」「行ってみたいところ」「今後、やりたいこと」をテーマに、インターネットで探した画像などを使いながら、個性溢れる作品ができました。朝方のランニングにハマっている若者は、走る姿勢の画像と「効果」をうまく組み合わせて、まるで多摩川の上を人が走り抜けているような画面を作り上げ、講師を唖らせていました。自分が伝えたいことを「会話ではなく、画像や文字で表現する」というのも、また面白い試みでした。今後も楽しみです。（佐藤）



HAPPY えんガリデイ

★えんからうまれた女子小学生 4 人のアイドルグループ「ミラクルキッズ」のイベントが 6 月 1 日夢パークのログハウスで開かれました。歌う曲や振り付け、チラシなども全部自分たちで準備・練習し、衣装は裁縫が得意なコハルの手作り。小 1 男子のアシスタントもつけて 3 曲のコンサート！お客さんが楽しめるようにピンゴ大会を開催するなど工夫していて、アイドルのプロ意識を感じました。何より 4 人（+アシスタントくん）の可愛さがたまらなかつたです（あかり）

★夢パに今年もたくさんあった梅。丁寧に洗って拭いて、小梅は塩漬けにして自家製カリカリ梅に。広口瓶には、一つずつおへそを取った梅と砂糖と酢を入れて梅ジュースを仕込みます。去年の梅ジュースを水と氷で割ってポットに入れておくと、あつという間に空っぽ。体が中から洗われるような爽やかさはこの時期にピッタリです。（三好）

★えんに赤ちゃんや小さい子がいるのが、珍しくなくなってきた。OBの子や来ている子のきょうだいなど、カワイ子ちゃんたちに何だかんだと世話を焼いたり、ちょっとちょっかい出してみたり、あちこちで絡んでるセンパイたちの顔はみんなやさしい♡あのえんの中で悠々とお昼寝しちゃう、ベイビーたちの将来がとっても楽しみだあ～。（ハイホー）

西ちゃんのつひやき

船戸結愛ちゃん(5 歳)が死んだ。ひらがなの練習帳にこう書き残して。

「ママ、もうパパとママにいわれなくてもしっかりと じぶんからきょうよりか もっともつとあしたはできるようにするからもうおねがいゆるしてゆるしてください おねがいします ほんとうにもうおなじことしません ゆるして

きのう ぜんぜんできてなかったこと これまで まいにちやってきたことをなおす これまでどんだけあほみたいにあそんだか あそぶってあほみたいだからやめるので もうぜったい ぜったいやらないからね わかったね ぜったいのぜったいおやくそく あしたのあさは きょうみたいにやるんじゃないかって もうあしたは ぜったいやるんだぞとおもって いっしょうけんめいやって パパとママにみせるぞというきもちでやるぞ」

どれだけつらかつたらう。5 歳の体重は 12 キロ。体中に虐待のあざがあった。子どもにとって遊ぶことは生きることそのもの。息をするように、食事をとるように、遊ぶことを通して、こころからだの栄養を吸収する。子どもから遊ぶことを取り上げると死んでしまうということがわからない親が増えてきているのではないかな。

言われたことを何でも完璧にできる人なんていない。失敗を繰り返しながら、少しずつできるようになっていく。いつまでたってもできないことだってある。そんな当たり前のことがわからない親が増えてきているのではないかと気になる。

「ちゃんと」「正しく」できるようにしつけること、「ひとさまに迷惑をかけない」ということに強迫的になってしまうおとなや、子どもに対して不寛容なおとなが増えていのように感じる。それは、いまの若い親たちが育ててきたプロセスの中に要因があるのではないだろうか。子どもたちが、自由に歓声をあげながら駆けずり回れる遊び場が地域にあったらうか。孤立せずに、地域で見守りあって育ちあえる子育て環境があったらうか。

たき火ができて、水や泥をふんだんに使って、群れて遊べる夢パークづくりも今年で満 15 年を迎えた。迷惑かけあってお互いさま。子どもたちの笑顔がはじける遊び場を、これからも親たちと一緒に、つくり続けていきたい。

（西野博之）



川崎若春就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

＊ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29 歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★くわしくは事務局まで★

祝15周年 いっぱいあそぼう！夢パまつり2018

7月16日(月・祝)11:00～16:00(18:00 閉所)

☆夏の恒例イベント！夢パークにいつもとちょっと違う水とドロの遊び場が出現！ウォーターライダーやドラム缶風呂、土山でドロ遊びなど、思いっきり楽しもう♪着替えは忘れずに！

「ゆめ市場」(飲食などの模擬店)や盆踊りもあります。

※17日(火)施設点検日のため夢パークは閉まっています。

※18日(水)「えん」は夢パまつりの代休です。

夢パーク おたんじょうび会

7月23日(月)

2003年7月23日が夢パークのお誕生日！みんなでお祝いしよう♪

※夢パ15周年記念オリジナルペーゴマ発売中です！(1つ250円)

夢パーク KUJI ROCK '18 summer vol.40

7月29・30日(日・月)

スタジオ利用者の中高生メンバーが企画・運営するライブイベント♪

八丈島キャンプ

7月29日(日)～8月3日(金)・5泊6日(うち船中1泊)

八丈島・底土キャンプ場 ※申込み締切 7月13日(金)

<★イベント出店★・♪演奏♪>

★♪フリースクール・フリースペース・フェスタ

9月8日(土) 神奈川県青少年センター

★雑居まつり 10月7日(日)世田谷区・羽根木公園

♪白梅学園祭 10月20日(土)小平市・白梅学園大学

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第3回 8月18日(土) 10:00～12:00

第4回 10月13日(土) 10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第3回 7月2日、第4回 9月3日、ともに10:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます (2018.3.19～2018.6.12)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載していません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

青木和雄、内川朗子、清水善幸、石川富士子、田老伸匡、竹内太郎、長谷川和子、本間光子、中村公一、石橋充行・大吉、輿水典久、宮崎芳正、友兼清治・悦子、中澤敦子、三宅翔太、毛井海渡、毛井大智、新田学、児島順子、後藤みしお、金子大也・麻子、畑本菜穂美、太田修嗣、矢崎美穂子、藤井景子、村岡美和子、中西拓子、遠山則子、赤野香織・彩希、塩原日出夫・喜江、仲田康史、佐藤研二・真理、山本将也、廣渡道明・明子、長谷川靖子、野口茂、阿比留久美、佐々木ともの、水上香里、栗原崇、高田裕子、せきしいずみ、佐々木郁代、吉良敦枝、本田正男、岡本宏次、小坂陽子、梨屋アリエ、加藤裕子、藤川昂大・美帆、長谷川啓介・佑季子、玉寄玲、平林浩、西川光、萩原健次郎、山田恵理子、松木優成・由美、浦野麻子、原恭子、藤田友子、森島幸子、東靖士、佐藤秀治、杉渕美有子、波瀬浩子、鹿山法子、石戸博也、松浦幸子、服部起代子、森光子、柿沼有樹子、布施賢造、田中眞由美、石川憲彦、小黒信枝、福本陽子、松山朋子、風工房 斎藤洋、なかゆくい、川崎地方自治研究センター、稲城・生活者ネットワーク、有限会社サポートステーション、川崎ひかり法律事務所、かわさき生活クラブ生活協同組合、中川裕子、櫻原雅人、細田和恵、高橋元央、三好洋子、愛甲香織、光富真希子、佐藤有樹、友兼大輔、西野博之、遠藤明梨、日下部政典、千葉志門、榎戸貴子、能條申子

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください) ※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富)



TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 ラジビル1F

オーガニックカフェ

